

## 釣り中の事故にご用心！！

Part3



### 事故事例(平成29年12月)

#### ●file1

事故者は、8日午前3時30分頃、釣り道具とクーラーボックスを持ち、立ち入り禁止区域となっている防波堤上を歩いていたところ、周囲が暗く、途中足場が途切れていることに気付かず、誤って海中転落しました。

たまたま近くにいた男性が、「助けてくれ」という声を聞き、事故者を発見、119番通報するとともに、付近にあったロープを事故者に握らせ、砂浜側に誘導し、臨場した消防隊員により救助されました。

#### ●file2

事故者は、8日夕方、釣りに行くと自宅を出た後、夜になっても戻らず、家族が探していたところ、同人の車両を発見しましたが、同人が見当たらないことから、警察に通報しました。

警察・消防・海保・漁協等により、搜索していたところ、10日、地元漁協所属船が海上に浮いている事故者を発見しましたが、死亡が確認されました。



いずれの事例も夜間に、単独で釣りをしていた際に発生したものです。  
釣り中の安全対策について、今一度ご確認願います。(裏頁へ)

第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1

(代表) 022-363-0111

(直通) 022-365-9609



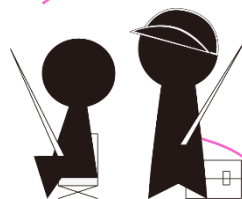
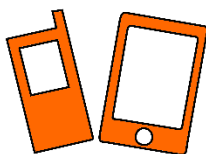
マリレよろず

検索

マリレ情報よろず屋URL>>> <http://www.kaiho.mlit.go.jp/02kanku/yorozuya/index.html>

## 釣り中の注意事項！

- ① **ライフジャケット着用**の徹底
- ② 適切な**連絡手段の確保**(防水パックの活用)
- ③ 海の緊急通報番号**118番**の有効活用
- ④ **複数名行動**の励行
- ⑤ **立入りが禁止**されている防波堤等へ立ち入らない
- ⑥ **子供**から目を離さない



また、冬期は、日照時間が短く、足元が凍っている可能性も考えられることから、**照明の携行**や**スパイク付きの靴を着用**するなど、上記6点の注意事項の他にも、時と場所に見合った安全対策をお願いします。

さらに、この時期は、水温が低く、海中転落が死亡事故に直結する可能性が高くなります。

万が一、海中転落した場合は、無理に泳ぎ回らず、腕と足を組み、できるだけ身体を丸めた体勢「**熱放出低減姿勢**(HELP: Heat Escape Lessening Posture)をとって救助を待ちましょう。



体力の消耗  
と体温の低下を防ぐこと  
で生存の可能性が高  
くなります。



**自分の命を守るためには、自らの心がけが重要です！**



マリレ情報よろず屋  
～バックナンバーはこちら～

海の安全情報スマホ版サイト  
(沿岸域情報提供システム)

